

## 第8回 第九次東大和市男女共同参画推進審議会 会議録（概要）

日 時	令和4年12月15日（木曜日）午後7時～9時30分
場 所	会議棟第1会議室
出席委員	外池委員、西委員、渡瀬委員、岡田委員、奥田委員、 佐近委員、杉野委員、野口委員、濱田(綾)委員、濱田(裕)委員
欠席委員	内田委員、鈴木委員
事務局	地域振興課長、人権・共同参画係
会議の種別	公開
傍聴者数	0名
会議次第	別紙のとおり
事前配布	・第三次東大和市男女共同参画推進計画令和3年度年次報告書の答申（案）に関する御意見のまとめ（資料1）

○配布物の確認

○副会長挨拶

定刻となりましたので、ただいまから、第8回第九次東大和市男女共同参画推進審議会を開催します。

### 1 審議事項

(1) 第三次東大和市男女共同参画推進計画令和3年度年次報告書（推進状況調査報告書）の答申について

事務局：資料が前回と書き方が変わっておりますので、その見方について説明したいと思います。

まず資料1、答申（案）に関する御意見のまとめについて、4ページを御覧ください。資料を事前に配布しておりますので、お気づきの委員の方もいらっしゃるかもしれませんが、答申（案）の本文の皆さんから御意見をいただいたところに前回までの資料と同様に丸で囲った数字と、丸で囲ったカタカナがあります。4ページで言いますと2段落目の2行目に㊦という丸で囲ったカタカナが記載されていることが確認できると思います。これらの使い分けですが、意味としましては丸で囲った数字については皆さんから御意見をいただいた部分を示しています。カタカナを丸で囲ったほうは、事務局が読み進めていく中で皆さんに御検討いただきたいなと思った部分を示しております。使い分けについてはこのようになっておりますので御承知おきください。

2ページにお戻りいただいて、まず「はじめに」という導入部分ですが、こちらには皆さんからの御意見はありませんでした。ただ、こちらのほうは事務局からの検討内容として㊦をつけさせていただいております。こちらにつきましては審議会の皆さんに検討していただく内容になっておりますが、皆さんに御審議いただいたのは施策に関する「進捗」について検証していただいているのであって、「進捗管理」について検証していただいている訳ではないと思ひまして「進捗」という表記をさせていただいております。委員の皆さんからもし御意見がありましたらいただきたいと思ひます。「はじめに」については以上となります。

副会長：事務局からの説明が終わりました。皆さんの御意見をお願いします。

委員：事務局のほうで「進捗管理」から「進捗」に直されたということですね。進捗というのは、物事が捗ることですね。進み具合というか。「進捗の度合い」とするほうがわかりやすいんじゃないかと思ひますね。「進捗の度合いについて検証し、審議いたしました」とするほうがいいのではないでしょう

か。物事を測る程度についてということ。

それと、最後から2行目に「効果的」とあるんですけど、今までは「実効性」という言葉を使ってきたんですよ。それで、辞書を引くと両方ともだいたい同じような意味なんです。でも今新聞でよく見るんですけど、法律に対して「実効性」と新聞には出ていますよね。我々がやっているこの審議会の推進計画というのは、条例という市の法律に基づいてやっているのだから、「効果的」よりも「実効性」って言い方のほうがいいのかなと。「効果的」だとイメージとしてもちょっと弱いかな。「実効性」のほうがもっと方向性を強く打ち出せるし、今は法律に対しては「効果的」より「実効性」のほうが新聞でもよく使われているので、そこら辺はどうなんでしょうか。よろしくお願いします。

副会長：ありがとうございます。何か御意見ございますか。

委員、すみません。「実効性」を使ったほうが良いということですけども、「実効性」の部分の直した感じでおっしゃっていただくとありがたいんですけど。

委員：「実効性のある推進をしていただきますようお願いいたします」という言い方でいかがでしょうか。

委員：今までは、「進捗状況を把握し、その実効性を確認する」というような文言がわりと使われてきましたよね。今までどおりでいいような気がします。まずは推進状況を把握して、その実効性を確認する。

副会長：ありがとうございます。他に御意見ございますか。

委員：㊦については「進捗管理」ではなく、「進捗」でいいと思います。強いて言えば「進捗状況」かと思いますが、私は「進捗について」で違和感がないと思います。あと、「効果的に推進」のほうもそのまま違和感はありません。今までがどうだったかは知りませんが、「実効性」でも「効果的」でもどちらでもいいと思います。

副会長：それではこの辺はバランスを考慮して、文言を整理したいと思います。

事務局：皆さんから御意見をいただいたところですが、「進捗管理」のところについては、例えば「進捗状況」や「進捗度合い」というお話もありましたが、「進捗」にとらわれず、そのどちらかで書かせていただくかなと思っております。「効果的」の部分については、皆さんから意見がありましたが、「実効性」という言葉を使うのであれば、例えば「今後の男女共同参画施策を着実かつ実効性を持って推進していきます」や「実効性のある推進をしていただきますよう」といった文言なら、この流れになるのかなと思います。さきほど、委員からありましたが、確かに「全体の進捗状況を把握して、実効性を確認する」という文言は以前使ってはいましたが、その文言を使うとなると、色々な言葉を変えていかなければいけないのかなと我々も考えておりますので、変えるべきだということであれば変えさせていただきます。

ただ、ここまである程度形になったものであるのだから、この文の流れに沿って「実効性」という言葉を使ったほうが良いのであれば、そうするという形も一つの案かなと思いますので、皆さんでどうするという方向性を出していただくと大変助かります。以上です。

副会長：何か御意見ございますか。

委員：事務局の意見でいいと思います。

副会長：会長は何かありますか。

会長：ないです。

副会長：では、事務局のほうでまとめていただけますか。

委員：結局「実効性」と「効果的」はどうなったんですか。その方向付けをするんじゃないんですか。

事務局：「効果的」なのか、「実効性」なのかは、その言葉のどちらにするかは、意見も出ていますので審議会の皆さんで決めて頂けると大変助かります。

委員：事務局から案も提示してもらったので「実効性」に変えれば良いんじゃないですか。

副会長：「実効性のある」とか「実効性を持って」という形ですね。

委員：先ほど事務局からあったとおり「実効性のある推進をしていただきますよう」がいいと思います。

副会長：「着実かつ実効性のある推進をして」でいいですか。

事務局：最終的に再度、確認させていただいてもいいですか。⑦のところについては、「進捗状況」でよろしいですか。「進捗状況について検証し、審議いたしました」という形でよろしいですか。それとも「進捗度合い」ですか。

委員：「進捗状況」のほうがいいです。

事務局：それでは「進捗状況」にします。下から2行目の「効果的」の部分は、「今後の男女共同参画施策を着実かつ実効的のある推進をしていただきますようお願いいたします」という形でよろしいでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは「はじめに」の部分につきましては皆さんから御意見のありましたとおりに修正させていただいて、固めてさせていただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

副会長：事務局からの確認は以上でよろしいですか。

事務局：はい。よろしく申し上げます。

副会長：それでは次に「計画全般について」、事務局の説明をお願いします。

事務局：3ページを御覧ください。

こちらの項目については、皆さんから前回、「はじめに」というところと、「おわりに」と記載していた全ての目標に関わる内容について、皆さんの御意見に基づいて「はじめに」の次に「計画全般について」を位置づけさせていただきました。名称のほうも皆さんからの御意見をいただいた中で、計画全般というのが一番聞いていてわかりやすいかなということもありまして、こういう形にさせていただいております。委員の皆さんからは5点の御意見をいただいております。1段落目については3点、主な内容に関わる御意見をいただきました。

また、3段落目につきましては2点、表記に関する意見をいただいております。特に1段落目の①と③についてはウィズコロナの記載についての御意見がありますので、御審議をいただければと思っております。②の部分につきましては、見ていただければわかるとおり「図れていない」だと審議会の主体的な視点になってしまうので「図られていない」が正しいのではないかと事務局としても考えております。④の部分につきましては、推進計画を掲げている以上、推進を図るのは当たり前だという御意見なのかなと思っておりますので、こちらの部分は削除してもいいのかな、というところを御意見としていただいております。⑤の「ジェンダー平等を実現しよう」というのは、国の施策で2030年の達成に向けてのSDGsになっていきますので、こちらの表現、目標年度を入れたほうがいいのかということでも目標年度を加筆した方がいいんじゃないかという意見をいただいております。ウィズコロナについては、前回の文章を活かしてウィズコロナの表記をしたほうがいいのかということ、ウィズコロナについては「今後」という言葉で代替を考えられるんじゃないか、ということでも真逆というんですかね、意見をいただいているので、このところを徹底的に御審議いただければなと思っております。なので、表記については確認をさせていただいて御意見があったら御意見をいただいて、ウィズコロナの部分については御審議、御意見をいただいて、どのような形にするのかという形を取っていただければなと思っております。

事務局のほうの説明は以上です。

副会長：事務局からの説明が終わりました。皆さんの御意見をお願いします。

委員：3ページの最後のところなんですけれども、「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向け、引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。とありますよね。この「引き続き」って内容についてはここではあまり審議してませんでしたよね。ジェンダー平等という言葉は取り上げたほうがいいんじゃないかと私も発言したんですけれども、内容については全くこうやってないんですよね。

だからここは「今後」のほうがいいんじゃないかと思います。内容についてはあまりやってないと思うんですが、記憶違いならすみません。いかがでしょうか。

副会長：皆さん御意見をお願いします。

委員：ジェンダー平等を実現しようという名目を打ってはやられていないというか、議論がなされていない記憶があるんですが、そもそもこの男女共同参画そのものがジェンダー平等を実現しようという大きな目的に沿って全てのことが行われているという認識だったので、個人的にはそんなに違和感を感じませんでした。

委員：もしそういう御意見であれば、それを踏まえたような文言を取り入れないと私のような意見も出ちゃうと思うんです。だから、もうちょっと言葉を足したほうがいい気がします。

副会長：他に御意見ございますか。

委員：施策全体はジェンダー平等のためにやっていると思うので、「今後」と言うと今までやっていない印象を受けるので、私はこのままの表現でいいと思います。あまりここで細かく言う必要はないと思います。

副会長：ここまで「今後」に置き換えたほうがいいのかという意見と、このままでいいという意見が出ました。他にございますか。

委員：このままでいいと思います。

副会長：どうですか。違和感を感じますか。

委員：私もジェンダー平等というのは一番大きな目標ですので、この表記でいいと思います。

副会長：もし付け足すとしたらどのような感じがいいですか。思いつく文言が思いつくようであればおっしゃってください。

他にありますか。

委員：私はそもそも最後の段落「また」以下がいらんと思っています。唐突にこういうことをね。ずっとやってきている訳ですから。答申というのは強弱をつけて、色々なことをやっているんですよ。その中で特に強調したいことを市長に答申するものですから。最初から私はここはいらんという意見です。だからここを直すという発想がないんです。

副会長：無くていいんじゃないかという御意見もありましたが、ジェンダー平等というワードを入れたという思いのある方もいらっしゃるのでは。

委員：どちらでもいいかなと思いますが、「計画全般について」という記載なので、SDGsの文言があったほうがいいんじゃないかという議論があった記憶があるので、SDGsに触れるのであればここかなと。ただ、無いなら無いで違和感は無いです。

委員：今年、SDGsやジェンダー平等という言葉が唐突に出て来たんですよ。だいたい誰の意見かわかります。でも皆さんの意見に従いますよ。

委員：第三次の推進計画の5ページ目にちゃんと1ページを割いて「2030年を目標年限とし」と書いてありまして、今で言うとあと8年というタイムリミットがありますので、敢えてまたここで強調してここで書くのは効果的だと思います。

副会長：書いてあったほうが効果的だという御意見ですね。どうやって決めましょうか。

事務局：一点いいですか。「引き続き」という表現もそうなんですけれども、④の部分「図るとともに」を削除したほうがいいんじゃないかという御意見もあります。これをもし削除してしまうと、確かに委員のおっしゃったように、例えば「引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします」だと文章が少し変になるんですよ。「推進を図るとともに」があるから「引き続き」につながっていくのかなと我々としては思っていますので、④の部分も含めてお話しいただくのがいいのかなと思います。「また」以下を削除するという根本的なお話しもありますが、④と「引き続き」は文面ではつ

ながっていると思っているので、④を削除するのであれば「引き続き」の部分も少し考えていただいたほうがいいかなと思いますし、④を残すのであれば「引き続き」のほうが文の流れがいいと思うので、④も含めた形で段落として話し合ってくださいと皆さんが伝えたい方向性も見えてくるかなと思います。

会長：下の4行は本質的なことを言っていると思うんですね。これが全て抜けちゃうと上の数行だけではちょっと内容が浅いんじゃないかな、十分価値があるんじゃないかな、と思います。ジェンダー平等を実現しようというのは審議の機会は少なかつたかもしれないけれども、本質的なもので絶えず頭の中に入れておかななくてはいけないことなので、私は生かしておいたほうがいいんじゃないかなと思います。

委員：正にそう思います。第三次の初年度のまとめなので、ここで言うておいたほうがいいかなと思います。これまでも、ということはあるかもしれませんが、この答申では初めてのことなのでリマインドとしてそのままのほうがいいんじゃないかと思います。

副会長：文章をそっくり残すということですか。

委員：私はそれで全然構いません。

副会長：このまま残すってことでよろしいでしょうか。何かございますか。何もないようなので、下の4行については残すということにします。あと、4ページ目の頭に⑤「ジェンダー平等を実現しよう」の2030年の達成に向け。という目標年度を加筆してくださいという御意見がありました。これについてはどうでしょうか。2030年を入れたほうがよろしいですかね。皆さん頷いてらっしゃるので、2030年を加筆する形にしますがいいですか。わかりました。

委員：④の部分なんですけれども、「推進計画で掲げる施策や事業の推進を図るとともに、」という言い方になっているんですけれども、図ることでこういうことが達成に向けてとつながる訳で、「ともに」としてしまおうと言わずもがな、みたいな言い方になっちゃう気がするんですが、その辺はどうでしょうか。

副会長：今の御意見に対して何かございますか。

先ほど、「図るとともに」でも違和感がないという意見もあったんですけども、この部分についてどう思われますか。

会長：「また」と「図るとともに」で自然でいいんじゃないかなと思います。「図るとともに」があつて、その後目標が出てきますが、いずれも重要な内容が膨らんでくると思います。平行に理解できるかなと思うのでこのままでいいかと思います。

副会長：今のところこのままで問題ないという意見が多数ですかね。

事務局：発言いいですか。委員はおそらくこの「引き続き」に引っかかっているのだと思うんですね。「図ること」で「引き続き取り組んで」いただきますよ、のほうがスムーズかなと思ってたんですけど、もし「図るとともに」にするのであれば「引き続き」を取っちゃってもいいのかなと思いました。「図ることで」にするならば「引き続き」を入れてもいいと思うんですけど、「図るとともに」であれば「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向け、取り組んでいただきますようお願いいたします。でもいいのかなと思いました。どうでしょうかね。「図ることで」「引き続き取り組んでいただきますようお願いいたします。」もし「図るとともに」であれば「引き続き」という文言を取っちゃってもいいかなと思います。どちらがいいのかはコンビだと思うんですけど、審議会の皆さんでどっちか決めていただければと思います。

副会長：ありがとうございます。今二通りですね。どちらがいいか御意見をお願いします。

委員：ちょっと意味が変わってきますよね。図る「とともに」ちゃんとジェンダー平等も、と話しを膨らましている訳だから、会長がおっしゃる意味だから、逆に取ったり中途半端なことをすると意味が変わ

ってきちゃうので、私は原案通りでいいと思います。

副会長：原案のままという御意見が出ましたが、いいですか。ありがとうございます。

事務局：「図るとともに」「引き続き取り組んでいただきます」でよろしいですね。ありがとうございます。

委員：推進計画でやっていることはジェンダー平等のこと以上のことをやっていて、その中で特に重点的にジェンダー平等のことを取り扱っていくということなのですが、ただそのことを文章に入れるとおかしくなっちゃうので、この文章のままでいいと思います。

副会長：ありがとうございます。あとは①のところはどうですか。①についても委員から御意見をいただいているのでこの部分についても御意見ございましたらお願いします。

委員：私はこの「ウィズコロナにおいても」という文章で何ら問題はないと思います。ウィズコロナに向けて、とかでなく、今がウィズコロナなので。要は、これまではコロナのせいにみんなしていたけれども、もうウィズコロナなんだからちゃんとやりましょね、ということだと思っただけですね。何が問題なのかよくわからないんですけども。

委員：③の意見を書いた者なんですけれども、ここのところは十分な推進が図れていなかった理由というのが新型コロナウイルスの感染症の影響だったということなので、敢えてここのところは気にしなくてもいいのかなと思ひ、③みたいに「ウィズコロナ」という言葉を、別に使っていたでもいいんですけども、ここのところはそんなに力を入れなくていいのかなと。今後は頑張ります、ぐらいでいいのかなと思ひ③の意見を書きました。ですので、残したいというのであれば全然構いません。

副会長：ありがとうございます。他に御意見お願いします。

委員：背景として「ウィズコロナ」というのは残してほしいなと思ひています。確かに「ウィズコロナに向けて」とかだとそれが目的にも捉えられてしまいますので、そのことを考えますと、「ウィズコロナに合わせて」とか、そういう感じの言葉で、背景としてぜひ入れていただきたいなと思ひます。

副会長：ありがとうございます。他に御意見ございますか。今のところ「ウィズコロナにおいても」で違和感がないという意見のほうが多いですかね。何か御意見、反対意見とかありますか。「ウィズコロナにおいても」のままでいいですか。

委員：それはもう趣味の問題かなと。どっちも変わらないですから。

委員：そのままでもいいんじゃないですか。引き続きやりますよ、という意味ですからそのままでもいいんじゃないですか。

副会長：それでは2行目は「ウィズコロナにおいても」でいきます。1行目の「図られていない」は「図られていない」で皆さんいいですよ。それでは1行目は「図られていない」とします。事務局として何か確認したい事はございますか。

事務局：最終的に確認させてください。②については「図られていない」という表現、①③についても「ウィズコロナにおいても」ということでともに変更なしということで皆さんの御意見の一致、3段落目の下4行の変更点とすると、「ジェンダー平等を実現しよう」の2030年の達成に向けと目標年度を加筆するということでの変更でよろしいでしょうか。皆さんに頷いていただいたので「計画全般について」もこちらで固めていきたいと思ひます。

副会長：次に「目標1とともに個性と能力を發揮できる社会の実現」について、事務局の説明をお願いします。

事務局：4ページを御覧になっていただければと思ひます。「目標1とともに個性と能力を發揮できる社会の実現」についてというところの項目でございます。

こちらは2点、御意見をいただいております。⑥⑦は二つとも表現に対する御意見です。⑥の部分については「重要な施策と」を「重要な施策の一つと」改めたほうがいいのではないかと、また、⑦については「量だけでなく」を「量的な面だけでなく」、「質の充実」を「質的な面での充実」と

というような形で表記を検討してほしい、という御意見でした。

最後の④の部分については、「自治会との連携など」という表現があったんですが、読み込んでいく中で「自治会との連携などを通じて」のほうがよりわかりやすい表現になるのではと事務局のほうで考えまして、皆さんのほうにお示しをさせていただいたので、こちらのほうも合わせて皆さんに御意見をいただいた中で、文面を固めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

事務局のほうからは以上です。

副会長：事務局からの説明が終わりました。では、皆さんの御意見をお願いします。まず⑥の「重要な施策と」について御意見をお願いします。

委員：意見のとおりでいいのではないですか。

副会長：皆さん、頷いてらっしゃいますが、異論のある方はいらっしゃいますか。

委員：このままってことですか。

副会長：意見のとおり「重要な施策の一つと」に変更することです。

委員：「重要な施策の一つと」のほうが自然じゃないですか。市役所は色々な施策をたくさんしていますので、その施策の一つということでもいいんじゃないですか。

副会長：わかりました。次に⑦の「量だけでなく」の文言を「量的な面だけでなく」、「質の充実」を「質的な面での充実」という意見をいただいています。御意見をお願いします。皆さん、頷いている様子なので変更したほうがいいという意見に賛成ですかね。何か異論のある方は挙手をお願いします。

委員：先ほど、いいと思えますと不規則的に発言しちゃっのは、変えていただいた案がいいと思えますという意味です。不規則発言をしちゃってすみませんでした。

副会長：他に御意見ございますか。特に御意見も無いようなので、変えるという方向性です。

次に、これは事務局から御意見をいただいた部分ですね。④「自治会との連携など」を「自治会との連携などを通じて」というふうに変えたほうがいいのかという意見が出ました。これについて御意見をお願いします。「自治会との連携などを通じて」に変えたほうがいいのか。賛成の方は頷いてください。異論は無さそうですね。それでは「自治会との連携などを通じて」に変えるという方向性です。よろしくお願ひします。事務局のほうから何か確認したいことはございますか。

事務局：皆さん、ありがとうございます。ここも確認をさせていただきます。

1段落目を読み上げます。「日本一子育てしやすいまちづくり」を重要な施策の一つと位置付けている本市として、保育施設の待機児童ゼロの達成を高く評価します。今後は保育事業及び学童保育事業について、量的な面だけでなく、こどもの安全や命を尊重するなどの質的な面での充実も望みます。というところですね。

2段落目については、「子育て家庭を支えられる地域となることが重要になっていくことから、自治会との連携などを通じて、地域力の掘り起こしや、地域とつながる取組の充実を図ってください。」というような形で変更させていただくということによろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは目標1についてはそういった形で固めさせていただきたいと思ひます。

副会長：ありがとうございます。

委員：すみません。「自治会との連携を通じて」はどこにかかっていくんですか。「自治会との連携を通じて」「地域力の掘り起こしや、地域とつながる取組の充実を図ってください。」ということでもいいんですか。

事務局：事務局としましては、その後の「地域力の掘り起こし」、「地域とつながる取組」につながっていくのかなと思ひています。この前の「自治会との連携など」のように「など」で切れていると、「自治会との連携」やそれ以外のことを並列しないと文脈がおかしいのかなと感じ取りまして、それな

らば「自治会との連携などを通じて」にしたほうが流れがいいのかなと考えました。事務局としましては、審議会の皆さんの御意見を形にした時に、この表現のほうが言いたい事が伝わるのかなと考えてこの表現を提案させていただきました。皆さんの中で、そうではない、という意見がありましたら御意見ください。

委員：どこと並列になっているかわかりづらいからこの提案のほうがいいですね。

副会長：それでは皆さん、事務局からの修正案のほうでよろしいですかね。皆さん頷いてらっしゃいますので修正案の通りとします。

次にいきたいと思います。「目標2 互いの人権を尊重できる環境づくり」について、事務局の説明をお願いします。

事務局：「目標2 互いの人権を尊重できる環境づくり」についてですが5ページをお開きください。3点の御意見をいただいております。

1段落目につきましては2点、2段落目については1点の御意見をいただいております。事務局としては⑩の部分について㊦とさせていただいておりますが、前回の審議会で「配慮が必要な人」と漠然としすぎているということで⑩のような表現を使って載せさせていただいたんですけども、やっぱり具体的というんですかね。⑩を見ていただければと思いますが、「様々な事情により生活上の困難に直面している人々への支援について」と表現することは難しいのかと。具体的に書くことで、ここに挙げた方が「配慮が必要な人」とみなすバイアスがかかるのではないかと若干懸念しましたよ、という形で御意見もいただきました。実際、前回の審議会で色々とお話しをさせていただいて、色々配慮する中でも計画の中ではこれらの人たちを「配慮が必要な人」と決めているので「ひとり親家庭や外国籍市民等の」と表現をさせていただいたと思うんですが、それでもやはり固定的に見られてしまうのであれば、事務局としてですね。「ひとり親家庭や外国籍市民等の配慮が必要な人への支援」を「推進計画に定めている配慮が必要な人への支援」という形にすればここで特定はしていないものの計画の中では特定しているので、皆さんのお伝えしたいような配慮が必要な人という部分について指し方ができるのではないかと考え、㊦という形で事務局として提案させていただきますので、そこも含めて御審議いただければと思います。以上です。

副会長：ありがとうございます。御意見をお願いします。先に「ひとり親家庭」の部分について御意見をいただきたくんですけども、どうでしょうか、御意見お願いいたします。「ひとり親家庭や外国籍市民等」という部分ですけども。

委員：前回欠席してしまったのでここら辺についての議論がどうなっていたのかわかっていなかったんですけど、⑩の意見を出したのは私ですけども、実際のところの施策だとかいうふうに特定して書いてあると思うんですけども、文章にすると目立ってしまうバイアスがかかってしまうのかなとパッと見た時に思っしまい、あまりクリアにし過ぎないほうがと思い、意見を出させていただきました。ただ、前回、議論がしつくされているようだったらあれですが、初めて見た時の印象です。

副会長：ありがとうございます。他に御意見をお願いします。

委員：私は⑩の意見に賛成です。㊦も検討したのですが、資料をいただいて初見の人がこの文章を見た時に「推進計画に定めている配慮が必要な人」というのが何かというのがわかりづらくなりそうな気がして、わざわざ推進計画を見に行くということまでおそらくしないと思うので、そうであれば⑩の意見でいただいているような、あまり限定せずに「様々な事情により」という形で文章を組み立てていただいているので、いいのかなと思います。

副会長：他に御意見あればお願いします。

委員：⑧の部分の御意見に対してなのですが、配偶者等に対する暴力の防止についての啓発活動は、若い世代だけでなく中高年齢者等全ての人を対象とした意識啓発が重要です。とあります。全ての年齢層

を対象者にするのは大前提だと私は思います。だから市のほうでその中でもとりわけ若い世代への啓発が重要だと。市のほうの本文でいいと思うんですね。全体を対象にするのは大前提ということに基づいてこういう文になっているので、このまま動かさないでほしいと思います。どうでしょうか。

副会長：今、冒頭の「配偶者等に対する暴力」のところで御意見いただきました。原案のままでいいのは、という御意見でした。先に真ん中あたりの⑩㊦の「ひとり親家庭や外国籍市民等の」の部分について進めてたんですけれども、今、配偶者のところに飛んでしまったのですが、事務局から説明がありました「ひとり親家庭」のところの審議を先にしていたんですが、絞ります。先に「ひとり親家庭や外国籍市民等の」をあえて具体的なことを書かずに「様々な事情により」と文言を変えがほうがいいのではという御意見が出ています。これについて何か御意見をお願いします。「様々な事情により」と変えたほうがいいですかね。「ひとり親家庭や外国籍市民等の」を「様々な事情により」に丸々と変えるのはいかがですか。

委員：⑩の意見に賛成です。

副会長：ありがとうございます。

委員：私も⑩の意見に賛成です。ひとり親家庭とか外国籍市民の中でも困っていない人もいっぱいいますし、ここでは困っている人のことを言っていて誤解しそうなので、⑩の意見のほうがいいんじゃないでしょうか。

副会長：⑩の「様々な事情により」に置き換える意見に賛成が多いようです。異論のある方はいらっしゃいますか。よろしいですか。直す方向で。

委員：前回までの議論だと「配慮が必要な人」だけだと漠然としすぎているので、そこで出た意見としてはひとり親とか外国籍市民で、それをここに書いてくださったのだと思いますが、あまり特定が過ぎるというのであれば⑩の意見でいいんじゃないですか。「様々な事情により」でいいんじゃないでしょうか。あまり特定しすぎない方向で。

副会長：文言自体は「様々な事情により」でいいですか。他の文言に変えたほうがいいという方はいらっしゃいますか。

事務局：もしですけれども、特定するとバイアスがかかってしまうというのであればドッキングしてしまうのも一つの手かと思います。「推進計画に定めているひとり親家庭や外国籍市民等の配慮が必要な人」というのでも、委員から意見があったように、計画を見に行かなくても、計画に定めている人たちなんだよと伝えられるかな、と今までお話を聞いていた中で感じたところです。実際のところ特定しなくても「様々な事情により」と、その後に支援制度の情報提供や相談体制の拡充・充実と書かれているので、こういった人たちが孤立することが無いように、孤立しそうな人に対して拡充・整備を求めていくことになり、おかしくないと思います。委員からありましたように前回議論していただいて付け足した部分にどうしてもバイアスがかかってしまう、偏見が生まれてしまうのを懸念されるのであれば、我々は推進計画に定めているからと思って加えましたが、確かに推進計画を見ないとわからないので、それならば「推進計画に定めているひとり親家庭や外国籍市民等」と丁寧に説明するのも一つの判断かと今感じたところです。ですから、取ってしまっても、入れても結構なのかなと思います。

副会長：「推進計画に定めているひとり親家庭や外国籍市民」と「様々な事情により」と二つの案ができました。いかがでしょうか。

委員：私は⑩のほうに賛成です。

副会長：では、⑩の意見「様々な事情により」にそっくり直すということでもよろしいでしょうか。わかりました。それでは、そのように決定します。

それでは上に戻りまして、⑧の「配偶者等に対する暴力の防止については、」のこの文言ですね。

これについて直したほうがいいのかと、そのままがいいのではないかと意見が出ました。さきほど委員から出たのはそのままのほうがいいのかという意見でした。直したほうがいいのかであれば御意見をお願いします。

委員：この意見を出したのは私なんですけれども、たぶんこれを入れてくれたのって、私が発言した下の部分の若年層の性暴力被害予防月間にパネル展を初めてやったことを評価したことからここに書いてくれたのかなと思います。私の希望としては、具体的な事業をやってくれたことを評価して、若いうちに啓発しておくとその子たちが結婚してからのDVがなくなるんじゃないかなという、特に将来に向けてDVが減らせるという気持ちで発言したものでした。DVってどの年齢層が多いのかっていうのはなかなか言えないと思うんですけれども、結構高年齢の方にも割とあるんじゃないかなと思います。ここにいる方たちはこういう会議に参加されるぐらいですから本当に理解があると思うんですが、そうじゃなく、社会情勢が悪くなるとイライラしたことを自分の配偶者などにぶつけるという話をよく聞きますので、だから若い人だけが特に重要とは私は思ってないんですね。それでここに付け加えさせていただいたんですが、凄くこだわりのつもりもありませんので、皆さんの意見に従います。

副会長：ありがとうございます。何か御意見ございますか。このままでいいとおっしゃられていますけれども、このままでよいと思われる方は頷いていただけますか。

委員：この問題は年齢とか年代とかでなく、全般なんです。だからここで取り上げてるのは強調する、将来に向かって若い世代をピックアップしてるんで、私はこのままでいいと思います。全部をピックアップするのは無理なので、他のところもそうなんですけれど、答申なので強弱をつけて、あまり全般的にならないほうがいいのかと思います。私はここはこれでいいと思います。

副会長：あとは⑨のところですね。「認識を高める」を「認識を深める」あるいは「問題意識を高める」という表現に改める意見をいただいております。ここはどうでしょうか。「認識を深める」に直したほうがいいですかね。

委員：⑨を書いたのは私なんですけれども、修辭法の問題なので「認識を深める」なのかなと思います。

委員：⑨は表現の問題なので、より重要なのは⑧をどうするかだと思います。

副会長：⑧の「配偶者等に対する暴力の防止については」というところ、このままでいいという意見が優勢かなと思うんですけど、一度意見をお願いします。「認識を高める」か「認識を深める」のところは抜いて、それ以外の3行について御意見をお願いします。

事務局：いいですか。この⑧は、5ページの後半部分を見ていただくと、かぎかっこの部分に新しい文章ですかね、ことを言って下さっています。これって全体的なことではなくてパネル展をやったことを評価しますよと。「将来の配偶者等に対する暴力を防止するには、若い世代への意識啓発が有効であることから、今後は教育現場との連携を強化し、効果的な事業展開を望みます。」というふうに、一段落を置き換えてはどうかという形になっています。そうすると⑨の「認識を高める」という表現もなくなっていく表現で、かつ、全体的ではなく将来の配偶者等に対する暴力を防止するためには若い世代への意識啓発だということで、皆さんは全体的なことを言いつつもその中でも特質して若い世代の認識を高めることが重要だということをたぶん皆さんが考えていただいていることだということで、評価をいただいている我々としてはありがたいことではあるんですが、この表現を入れるかどうかというところは別として、こういった表現、1段落そのまま考えていただいているので、これに変更するっていうのも一つの案なのかなと思うので、事務局のほうで説明をしなかったのも、皆さんの中から飛んでしまったのかもしれないかもしれませんが、具体的なことを実施計画などと絡めてこのような表現にしてみてもいいかと思うので、皆さんにお示ししている部分もあるので、そこも御検討いただけたらと思います。

副会長：それではそのところも含めて御意見をお願いします。

委員：違うところ、いいですか。

副会長：今はDVのところをやっているので終わったら次お願いします。

委員：分からないところを教えてください。御意見おっしゃったところの、若者だけでなく、今は中高年齢者層にもDVという問題があるとおっしゃっていたんですが、それはそうだと思うんですが、それはこの文だとどこに入っていますか。

委員：その文は書いていません。進捗状況を見て、そのうちどんな事業をやったかを評価して、この事業は凄くいいんじゃないでしょうかという意見を述べたうえで、これは将来のDVの防止に役立ちますねって更にそれを進めるためには学校関係ともっと連携を強化するのがいいんじゃないですか、という意見です。

委員：わかりました。そういうことですね。ありがとうございます。

事務局：いいですか。何度もすみません。全体的なところのお話しをさせていただくと、目標1、目標2、目標3とあるんですけども、この目標2だけは審議会の皆さんが厳しい御意見なのか、評価をする文言が無いんですね。目標1については待機児童ゼロの達成に高く評価をします。目標3については連絡会議については連携・協力・議論を高く評価します。というように言っているんです。そういったところの文言ですかね、目標1から目標3まで評価するところは評価するよ、ただ、この部分についてはこうやってくださいと表現を統一するような使い方であれば、考えていただいたパネル展を実施したことを評価しますよ。将来に向けてもやってください。という統一的な目標1、目標2、目標3の書き方にもつながるのかなというのがありますし、全体的な流れも考慮していただいたなかで決めていただければいいのかなと思います。ただ、皆さんの御意見の中で目標2だけはこうだ、というのであればそれでもいいですし、統一感を取ろうとするのであればそういう表現も一つの手段かなと思います。

副会長：ありがとうございます。御意見ございますか。

委員：目標2だけ評価が入ってないということでしたが、無ければ無いでもいいんですよ。例えば目標3の庁内で評価システムが評価されたとありますよね。あそこは新しくクローズアップされるところだからいいねという意見です。無理くりここで掘り起こせというのはね。事務局から言われてもね。今まで出てないんだから。

事務局：表現として書いていただいていたので、統一した表現という意味で。

委員：統一って分野の書き方じゃないんですよ。そこは。市長さんに強弱をつけてこれはやってる訳ですから、特にいいところを取り出しているんです。普通にいいところはいっぱいあるんです。だから、よくやっているから広報に力を入れたらどうですか、という話しを私はいつもしているんです。大丈夫ですか。

事務局：皆さんの意見としてこういうふうになったというのであれば大丈夫です。

会長：人権というのは崇高な課題ですよ。奥の深い。だからそれを達成するというのはなかなか難しいことなんですけれども。それに向かっていきましょうという精神で、このような事業が具体的にある訳ですから、だからバランスというのはそれでいいのではないですか。

事務局：ありがとうございます。

副会長：ありがとうございます。他に御意見はございますか。

委員：今のところなんですけれども、前にいただいた令和3年度推進状況調査票の中にですね、確かに今年度は新たに、という文言がございまして。国の若年層の性暴力被害予防月間にパネル展を実施した。新たに、というのは評価されるべきかなとは思っているのですが、数値とか具体的な実績と書かれているところに、具体的に、例えば何人ぐらい見に来られて、これはいいねという実際に事務局のほうに投書があったとか、何かそういった具体的な紐づけがあればここに文言を入れてもいいのかなと思ってお

りますが、このところは効果的だったという裏付けみたいなものがあるのかどうか教えてください。

事務局：パネル展は市役所1階の市民ロビーで開催させていただいております。色んな人が来た時に見ていただいている形で、ただ我々もそこに張り付いている訳ではありませんので、何人来たかとか、どんな感想を持ったかはわかりませんので、具体的な部分での効果は表せないのかなと思います。ただ、我々としては啓発というのは凄く重要なので、機会を捉えてパネル展をやれるところがあればパネル展を行ったりというところで、新しい取り組みとして若年層へ取り組んだことですので、効果的だったかどうかと言われると測れないのでなかなか難しいです。

委員：置いていた資料が20部ぐらい少なくなっていたとか、残りが少なくなっていたとか目に見える部分ではどうですか。

事務局：冊子やボールペンなどの啓発グッズを置かせていただいています。ただ、そういった啓発グッズは興味があって持って行かれる方も勿論中にはいらっしゃいますが、無料ということで持っていく方も正直なところいらっしゃると思われるので、一概にそういったものが無くなったから効果があったと我々としては言いたいところなんですけれども、実際のところの効果というところで測るのは、啓発という部分では難しいところかなと思います。ただ、やり続けなければいけないので、啓発を続けていくのが重要なのかなと思っているので、引き続き行っていきたいと思っています。

委員：新たにやったことは評価するけれども、凄く効果があったとは書いていません。待機児童ゼロは高く評価しましたがここはそこまで評価してないので、ここではこういう表現にとどめました。

委員：新たにやったことを評価しようとしていますけれども、私に言わせればまだこんなことやってなかったの、という評価もあります。心の中には。パネル展をしばらく見ていたんですが、景品はあるかなと思って見ていました。文章なんて読まずに景品だけ持っていく人がほとんどでした。しばらく私見てたんですよ。景品は確かに無くなっていました。色んなのが。誰も見ていない。それを目的に行ってます。悲しいことに。私はじっくり見ましたけど。一概に新しいことをやったから素晴らしい、とは私は違った見方をします。そんなことまだやっていなかったの、ということが結構多いんです。やっとやったかと。だからその中身ですよ。それが出てくれば、審議会でのことをフィードバックして年度途中でやればもっといいと思います。

副会長：記述については委員としては、元のままでも違和感がないということでもいいでしょうか。まずは「認識を高める」は除いておいて、それ以外の1段落目の3行をどうするか、このままでも大丈夫ですか。大丈夫そうですね。それでは次に「認識を高める」についてですね。「認識を深める」あるいは「問題意識を高める」という表現にするという意見が出ています。これについてはどうでしょうか。

委員：どっちもあります。「認識を高める」「意識を高める」「認識を深める」。全部あります。普通に使う言葉なんで、別にどれでも。

副会長：これは言葉の問題ですので、事務局で考えていただくということでもいいですか。

委員：事務局で、この文章に一番フィットするのを選んでもらえばいいんじゃないですか。

事務局：ありがとうございます。我々というか、市のほうではよく「認識を深める」という言葉を使っております。ただ、これは我々の文章ではなく、審議会の皆さんの文章ですので、我々としては「認識を深める」という言葉を使うことが多いのですが、皆さんがどうしても「認識を高める」のほうがいいというのであればあれですが、皆さんは「認識を深める」でいいですか。

委員：「認識を深める」でいいと思います。

副会長：他に事務局で確認したいことがあればお願いします。

事務局：色々な御議論ありがとうございます。目標2について確認させていただきます。⑧については変えずに、1段落目を読ませていただくと「配偶者等に対する暴力の防止については、若い世代への

DVに対する認識を深める意識啓発が重要であると考えます。教育の場との連携を強化するとともに、意識啓発事業の充実に努めてください。」という形で「認識を深める」という表現に変えさせていただきます。2段落目につきましては最初の「配慮が必要な人への支援については」のところの、「については、」までを削除させていただき、「様々な事情により生活上の困難に直面した際に地域社会から孤立することのないよう、支援制度の情報提供や更なる相談体制の拡充・整備を求めます。」と、「様々な」から段落を始める形にさせていただきます。こちらのほうでよろしいですか。

事務局：事務局のほうでは⑩の文章を生かした形というふうに認識していたんですが、「様々な事情により生活上の困難に直面している人々への支援については、地域社会から孤立することのないよう、支援制度の情報提供や更なる相談体制の拡充・整備を求めます。」でよろしいでしょうか。

委員：それでいいんじゃないでしょうか。

事務局：わかりました。目標2はそのような形で固めさせていただきます。

副会長：次に「目標3男女共同参画社会実現に向けた推進体制の整備・充実」について、事務局の説明をお願いします。

事務局：「目標3男女共同参画社会実現に向けた推進体制の整備・充実」についてですけれども、7ページを御覧ください。委員の御意見につきましては主に表記に関わる御意見でしたが、⑫につきましては、計画達成に向けた具体的なスケジュール等、についての御意見をいただきましたので、これらの点について答申に盛り込むべきかどうか御審議いただければと思います。また、⑤と④については事務局で気づいた点で、⑤は「啓発的な取組」よりは「啓発の取組」、④の「職員の啓発や具体的推進、具現化のためにも」のところは具体的推進だけだとわかりづらいと思われましたので、我々としては「職員に対する啓発や」の後が抜けてしまっているのですが、「事業の更なる推進、具現化のためにも」というような表現のほうがわかりやすいのではないかなという形で書かせていただいております。⑪⑫につきましては、具体的なスケジュール感がないまま時間ばかりが経っているように思えるとの御意見なので、スケジュール感を出して欲しいという意見だったり、また「事前に調査研究を行いながら、」という文言を加筆して欲しいという御意見がありました。ですので、この部分を加筆、修正があれば御審議いただければと思います。以上です。

副会長：ありがとうございます。それでは皆さんの御意見をお願いします。まず⑤の「啓発的な取組」は事務局からいただいているところなんですけれども、「啓発の取組」に直したほうがよろしいのではという御意見をいただいています。これについてはいかがでしょうか。「啓発の取組」に直したほうがよろしいですかね。皆さん頷いていらっしゃるようですね。それでは「啓発の取組」に直すことにしたいと思います。次ですね。④についても事務局からいただいている御意見です。修正後は「職員に対する啓発や更なる推進、事業の具現化のためにも」という修正をご提示いただいております。これについてはいかがでしょうか。

委員：「具現化」という言葉はあまり使わないと思います。「具体化」ではないのですか。具現化というのは凄く改まった言い方な気がします。

副会長：「具体化」という御意見ですね。他にございますか。

委員：④のところ、記載されている言葉が抜けてたど先ほど事務局がおっしゃっていたので、「職員に対する啓発や事業の更なる推進、具現化のためにも」と変更案として捉えればよろしいですか。

事務局：申し訳ありません。その通りです。「更なる推進」とあるんですが、それじゃ更なる推進ってなんなのか、となってしまうと思うので「事業の」を先に持ってきていただいて、「更なる推進、具現化のためにも」のほうが「事業」に対する「推進」と「具現化」がかかるかなと思います。我々のほうでも「職員の啓発や更なる推進」となると何の推進、と皆さんもなると思いますので、委員の言うとおりに直していただければと思います。

委員：ありがとうございます。

副会長：確認させてください。「職員に対する啓発や事業の更なる推進、具現化のためにも」でいいですか。  
事務局：そうです。あとは委員からあったように「具現化」か「具体化」を話し合っただけだと思います。

副会長：それでは、「具現化」か「具体化」のどちらがいいか御意見をお願いします。

委員：「具体化するためにも」はどうですか。

副会長：御意見をお願いします。

委員：今「具体化するためにも」という御意見がございましたけれども、目標3の一番最後のところに「計画的かつ具体的に検討を」と、「具体的」という表現がありますので、ここを「具体化」にすると2度同じ言葉が出てくることになるので、ここは「具現化」のほうがよろしいのではないかと思います。

副会長：ありがとうございます。今の御意見を受けていかがでしょうか。

委員：「具現化」でいいんじゃないですか。全然違和感は無いですし、具体的に実現することを具現化というので、具現化と言ったほうが私なんかは自然に読めますよね。具体化よりも具現化で。言葉の意味としても。

副会長：「具現化」で違和感が無いという御意見をいただいております。あるいは下に「具体的」とあるので「具現化」がよろしいのではという御意見があります。「具現化」のほうがよろしいでしょうか。頷いている方のほうが多いですかね。

委員：辞書には、性質やアイデアなどを具体的に実現することを具現化と書いてありますので、「具現化」でいいんじゃないですかね。

副会長：「具現化」でよろしいですかね。ここをもう一度読みます。「職員に対する啓発や事業の更なる推進、具現化のためにも」でよろしいですか。頷いている方が多いですが、反対意見はございますか。無いようなので、いま私が申し上げた通りに直すということで、よろしいでしょうか。

次ですね。⑪⑫の「審議会等の女性委員比率の向上については」、これについて御意見をお願いします。「事前に調査研究を行いながら」を加筆したほうがいいのかという御意見をいただいております。

委員：「審議会等の女性委員比率の向上について」ですね、この文章だと凄く受け身な感じがするんですよ。やっぱり踏み込んで調査研究、条例には調査研究しなさいというのがある訳ですよ。だから他所の市で具体的に進んでいる市の調査研究をしたり、その時の流れの中でやるのではなくて、能動的な部分がこの文章からは見えてこないんです。長年これをやっている訳ですよ。だからもっと踏み込んで。前はあて職なんて具体的にあったんですよ。でも段々と抽象的な表現になっちゃってますよね。当たり障りのない表現なんですよね。だから、さっきの具現化ではないけれども、達成するためにはもっと踏み込みが足りない。だから私は調査研究が必要だという意見を事前に言ったんです。そういうふうには踏み込んでいかないと、なかなか40%の達成は難しいのかなど。どうしても綺麗ですよ、この文章。「審議会等の女性委員の比率の向上については、委員の改選時の機会などを捉え、女性委員の登用促進を図り、目標値40%に向けて、着実に進めてください。」この文章だと踏み込みが足りないんですよ。なかなか難しいですけども、一步でも前進するには絶対調査研究が必要です。やっぱり姿勢の問題があるから。受け身ですよこれだと。やりましたよ、だけど出来ませんでした、みたいになっちゃうんですよ。この表現だと。だから調査研究して踏み込んでやったけど出来なかったんならまだいいですよ。なんかこのままだとしょうがないなあ、みたいになっちゃう。

委員：⑫の意見に大賛成です。時間ばかり経っているように思えて仕方ありません。ずっと一貫して言っているのは、審議会的女性委員の比率なんて、やる気があればすぐに出来ます。この話しは失礼な言い方かもしれませんが、市役所の職員の管理職の比率がありましたけれども、あれは時間がか

かるのはわかります。審議会の女性委員の比率なんて、一日で出来ます。これは例えが悪いかもしれませんが、オリンピックの時にある人が女性蔑視の発言をしまして、女性の理事の半分近くが一夜にして辞めちゃいました。これはもう、早急にやって欲しいんですね。ここの表現が非常に弱くて、「目標値40%に向けて、着実に進めてください」だと弱々しくて、「早急に達成するよう努めてください」とか、そういう強い言葉を入れて欲しいと思います。⑫の意見に大賛成です。以上です。

副会長：もう少し強い表現を盛り込むということですね。

委員：⑫は私が書いて、賛成をいただいたんですけども、これは二次の時からやられてきて、きっとこのままだと10年経っても何も変わらないなという印象を受けたので、私の任期も今年までなので、やっぱり残せるとするところをきちっと。改選時の機会を捉えるとかはどうしてもよくて、それぞれの委員会がいつまでにやります。こうやります。というのを言うことしかないんじゃないかなと思います。出来ないなら出来ない理由をちゃんと言えと。たぶん皆さん横を睨んで見ていらっしゃるから。方法はどうしてもよくて、いつまでにやるんですか。10年間の中でとしたら皆さん10年後に40%を目指すとしようもないことを言うかもしれませんが。改選期だったら例えば2024年の改選期には40%にするとか、そういったことを言うことしかないかなと。きちんと実施時期と方法を立てて実行してください、とハッキリ言っているんじゃないでしょうか。普通の会社でも、これはいつまでにやるんだよ、と言われますよね。至って簡単なんです。他の委員もおっしゃったように、明日にでもやろうと思えば出来るんです。

副会長：はい、お願いします。

委員：審議会ってあて職が多いんですよ。例えば消防署長とか警察署長とか。だいたい男性が多いんですよ。あて職も工夫すれば。例えば警察署長及び署長の指名する者とか、変えればすぐ出来るんです。何かあったらそういうふう出来ると思うんです。やる気があればというのは失礼な言い方になるかもしれないんですが、早急に達成するように努めてほしい。強い言葉を一つ入れたいなと。

副会長：ここの表現のほうを皆さんの想いを汲んで、もう少し具体的に、強くするような形でよろしいでしょうか。今は文章を作らなければいけないんですけども、一旦、「目標値40%に向けて」の前で切りましょうか、文章を。「審議会等の女性委員比率の向上については、」「事前に調査研究を行いながら、」「委員の改選時の機会などを捉え、女性委員の登用促進を図ってください。」で一旦区切りますか。その後に目標の達成時期とかの文言にいきましょうか。

委員：いつまでにやる、とか目標を決めてそれを進めてください、と言うだけなんじゃないですか。「改選期を捉えて」とかそういう言葉はどうしても良くて、それはあなたたちが考えてくださいということだけだと思うんですけども。

委員：目標が40%になっていて、この計画が10年間になっているので、早急にやりなさい、ぐらいでいいんじゃないですか。

委員：この実績の表を見ても、全部の平均値が出ていません。一つも迫力がないじゃないですか。だからどこがやっていないのか、なぜ出来ないのかを委員会できちんと進めていっていただきたい。それぞれがいつまでにやるという目標を立てないと、いつまでもやらないと思います。

委員：それぞれの審議会に意見があると思うので難しいと思いますけどね。ここの審議会だったら条例に書いていますから、その通りやればいだけなんですけれども、条例に書いてない審議会等については何もやっていないで、そこら辺の工夫をして欲しいです。

副会長：文章は作らないといけないので、その辺りはどうやって整理すればいいですか。

事務局：いいですか。委員の意見を尊重すれば、女性委員の比率の向上については、目標の達成に向けて、改選時期、またはいつ、どこまでやるかということを示してください。というのが審議会の御意見になると思います。委員の意見を基にすれば、ここの表現は変えずに目標値40%に向けて「早急

に」取り組んでください。というお話しなんだと思います。言ってることは表現の違いだけで、具体的にいつまで審議会としてやるのか示して、という審議会としての御意見なので、より強い表現なのかもしれませんけれども、今お話しを聞いているとその2パターンなのかなど。今このある程度出来ている文章の形を大きく変えるというのも一つの考え方で、この文章を生かして「着実に進める」ではなく「早急に取り組む」という表現にするか、というところだと思うので、どちらの表現にするかで強さが若干違うのかなと思います。そこら辺を話し合っただけで方向性を決めてもらえれば。我々も話しを聞いていて心が痛いんですが。

委員：言葉を強くするのであれば、「少なくとも改選期には確実に達成するように」というのもあるかもしれませんが。私たちがやってくださいねと言ってもやる気がない人はやらないので、むしろその委員会の方にちゃんと言っていていただくというのが一番じゃないでしょうか。あなた言ったよね、いつまでにやるよって。

事務局：表現の部分については皆さんに御審議いただくことで。

副会長：「確実に達成するように」みたいな強い言葉に変えたほうがよろしいのではないかという意見をいただきました。どうでしょうか。

委員：具体的にということであれば「改選時の機会などを捉え」でもいいのかもしれませんが、ここはこのままでいいと思います。おっしゃる通りで実際にじゃあなんで出来ないのか、いつになったら出来るのかということをはッキリしてもらった上で、目標値40パーセントに向けて頑張ってくださいと言ったほうが非常に強いですし、積極性もあるし、訴えるものがあるんじゃないかなと思います。

副会長：他に御意見ございますか。

委員：ここにある文章を生かすのであれば「審議会等の女性委員の比率の向上については、」「具体的な達成時期、具体的な方策を定め」、「目標値40%に向けて、着実に進めてください」でいいのではないのでしょうか。

副会長：この部分はもっと強い表現にするよう、文章を足したほうがよろしいのではということですね。

「確実に達成するように」とか「目標の達成時期、そのための具体的な方策、達成できない場合は、その理由を示していただくように」という意見をいただいております。あとは文章の整理です。どのように整理していきましょうか。

委員：私も委員の意見に賛成で目標達成の時期をはっきりさせる、また委員の早急に進める、というのを全部合わせていくと、「審議会等の女性委員比率の向上については、目標値40%に向けて各審議会ごとに具体的な達成時期と方策を設定し早急に進めてください。」とか。

副会長：すみません。もう一度お願いします。

委員：違ったらすみません。「審議会等の女性委員比率の向上については、目標値40%に向けて各審議会ごとに具体的な達成時期と方策を設定し、」ここは方策がいいんですか、「早急に進めてください。」。「定め」か「設定し」はどちらでもって感じです。

委員：私の考えなんですけれども、表現はいくらでも強くできるんですよ。だから、ここにいる審議委員の皆さんが、事務局は一步前進したなあ、と感を持ってもらえるような取り組みをしてもらいたいということなんです。それが大事なんです。表現はいくらでも強くできますよ。けど相手もあることだし、長年こういう形でやってきたので、急に数字を達成するということはなかなか難しいと思いますけれども、本当に努力して、ああ大変だなあ、一步前進してるなあと思ってもらえるような取り組みをぜひ事務局にお願いしたいなと。そういうことです。

副会長：ありがとうございます。皆さん想いは一緒ってことでしょうか。あとは文章をどう整理するかだと思います。委員が整理した文章をベースにしたいと思います。

委員：よろしいんじゃないでしょうか。

副会長：ではその次ですね。⑬の「拠点施設の整備については、」のところですか。事前に御意見をいただいております。「推進に関わる拠点施設の整備については、」という御意見です。これについて御意見をお願いします。

委員：変更案でよろしいのではないのでしょうか。

副会長：⑬の意見の通りに変更案でよろしいのではという意見が出ました。「推進に関わる拠点施設の整備については、」に直すということでもよろしいのでしょうか。異論は無さそうですね。それでは⑬は修正後のほうにしたいと思います。

次に⑭、「実現可能な方法を模索してください。」については、「実現可能となるよう具体化を図ってください。」という修正案をいただいております。これについてはどうでしょうか。

委員：修正案のほうがいいですね。

委員：修正後のほうがいいですね。

副会長：皆さん頷いてらっしゃるので、修正案に賛成の方が多いようですが。

委員：修正案にしますと、「具体化を図ってください。」の後の最後の行に「具体的に検討」とあり、具体化というワードが繰り返して出てしまうので、そこについては「実現可能な方法を検討するとともに、拠点施設で実施すべき事業や機能について、計画的かつ具体的に検討を進め、充実に努めてください。」と一文にしてしまったほうがいいのではないかと思います。

副会長：すみません。もう一度ゆっくりお願いします。

委員：これが二つの文章になっていますが、拠点施設の整備ということを考えるにあたって、そこでどのような事業を実施するかとか機能をどうするかを考えた上で整備計画とはあると思います。ですので、ここは二つの文章を一つにしてしまいまして、「拠点施設の整備については、既存施設の再活用や有効利用など実現可能な方法を検討するとともに、拠点施設で実施すべき事業や機能について、計画的かつ具体的に検討を進め、充実に努めてください。」と一文にしてはどうでしょうか。

副会長：ありがとうございます。これについて御意見をお願いします。

会長：ここの部分を指摘したのは私なんですけれども、長年に渡って検討してきたんですよ。審議会でも随分取り上げて。ところが進んでいない。拠点施設ってなんなの、と言う人もいるぐらいなので、これは一番問われているところだと思うんですね。東大和市に。姿勢が。実現可能な方法を検討してください、というのも私に言わせてみればもう散々検討してきましたよ、と言いたいんですけど、どうでしょうか。「模索」もそうですけど「検討」もちょっと弱いんじゃないかなと。散々これまで検討してきたんだから。何か他に言葉はありませんか。

副会長：「検討」に代わる、もう少し強い言葉ですか。「模索してください」と原文にあったのを「検討してください」という意見が出て、更に「検討」よりも少し強い言葉にしたほうがよいのではという意見が出ました。

委員：私も⑭の変更案に賛成でして、文章を統合する案もいいなと思ったんですが、今度は「検討」被りをしてしまうんじゃないかというのが気になり、「～検討するとともに～検討を進め、～努めてください」となってしまい、最後の行の「計画的かつ具体的に検討を進め」の部分の何か変更できないかなと思って考えまして、文章で言いますと、「拠点施設の整備については、既存施設の再活用や有効利用など実現可能となるよう具体化を図ってください。併せて、拠点施設で実施すべき事業や機能の充実に、計画的に推進してください。」とか。「具体的」を取っちゃったんですが、後段を少し言い回しを変えて、前段は⑭の御意見を生かすのはいかがかなと思ったんですが。

副会長：文章をつなげたほうがいいというのではなくて、文章を一旦切って⑭の御意見のとおり直して、後段を「計画的に推進してください」に変えらう。

委員：「具体」被りを無くして自然に感じにするのがいいかなと。

副会長：御意見をお願いします。

委員：質問なのですが、拠点施設について今まで散々検討してきたとおっしゃってたんですけども、検討結果について教えてください。検討結果というのは出ているのでしょうか。

事務局：拠点の整備については審議会からの答申の中で何度も御意見をいただいているところであります。私が着任してからは施設についての整備に特化をして整備しようとして皆で取り組んだことはないです。

委員：審議会のほうでいくら検討しても、事務局のほうでどの事業をどのように取り組んでいくかを把握してないようでは、いくら審議会がやったほうがいいと言ったところで全然実現しないということですよ。その辺が何か悩ましいなと思います。

事務局：その点については前回もお話しをさせていただいたんですけども、市として施設の整備、ハード面の整備というのはとても難しい状況にあると説明させていただいております。そのため、その拠点にあるべき機能を充実させるために、一つの例で言いますと令和3年の7月から女性のための法律相談を立ち上げております。そういった、ハード面では難しいので、我々のほうとしては拠点にあるべき機能の充実を図ってまいります、ということは皆さんにお話しさせていただきました。それで前回お話しがあったところで「既存施設の再活用や有効利用」を今後考えて欲しい、というのが今回の皆さんの御意見なのかと受け止めております。会長から指摘のありました拠点施設の整備について散々検討してきたことについて、施設の充実は図らなければならないと事務局としては捉えていて、その中身の部分の充実を図っているのが今の事務局の動きになります。ただ、ハードの部分というのは市内の公共施設という市の全体的な動きというのがあるので、機会を捉えながら、チャンスがあれば声を上げていくのが姿勢として重要だと思っていますので、そういったところでなかなか難しいところなのかと思っています。

委員：拠点施設でやるっていうのは相談機能と、あとはどんなものがあるんですか。

事務局：パネル展による啓発だとか、拠点として講座をすとか、色々な機能がそれぞれあると思うんですが、その中でも有効だと思う機能を、一つずつ充実を図っているところです。地域振興課としては男女共同参画として相談窓口もありませんでしたので、まずはそこを設置するという事で女性のための法律相談を行っております。ただ、拠点でなくてもできる、さきほどありました若年層のためのパネル展などは出来るところでやっています。事業が充実して、それを集約したら拠点施設でやるほうがより周知効果は高くなるかもしれないとは思いますが、ハードの部分は我々だけでは整備するのは難しいですし、市としての動きもあるので今後、機会を捉えて我々としても声を上げていきたい、と皆さんにはお伝えしている状況です。

委員：そうすると、機能としては大きく分けて二つ。相談窓口と、講座も啓発の中に入るので、啓発でよろしいですか。

事務局：はい。

委員：わかりました。中断してすみませんでした。

事務局：ありがとうございます。

委員：「併せて」というのは、施設はなくともってことですか。

事務局：審議会の委員の皆さんの意見としては、ぜひ拠点を作ってくれっていう御意見なんです。ただ、我々としてはそういった事情があるので、そういった説明をしながらも、前回だったと思うんですけども、皆さんはずっと拠点の整備を、ハード面としてずっと言い続けなければならないんじゃないか、というお話しがあったかと思っております。そういった意味で、審議会の皆さんの答申なので、皆さんの意を汲んで、「拠点施設で実施すべき事業や機能」も含めて計画的かつ具体的に検討を進め、充実を図ってください、という表現にさせていただきました。前段の部分は、ぜひハード面の整備をしてください、という審議会の皆さんの御意見を尊重させていただいているという形で私たちは

作らせていただきました。

委員：前段はよくわかりました。この間も伺ったので。「有効利用など実現可能な方法を早急に実現してください」ぐらいしか言いようがないんじゃないかなと思います。「併せて」を読むとよくわからなくなりますが。

副会長：文言の整備をしていきたいんですけども、どうでしょうか。具体的にいただいているのは委員の文章ですけども。

委員：私はここを一体で考えたいと思っておりまして、「拠点施設の整備については、既存施設の再活用や有効利用などを考慮し、拠点施設で実施すべき事業や機能について、計画的かつ具体的な検討を進め、充実に努めてください。」ではいかがでしょうか。

副会長：もう一度お願いします。

委員：⑬のところからいきます。「拠点施設の整備については、既存施設の再活用や有効利用などを考慮し、拠点施設で実施すべき事業や機能について、計画的かつ具体的な検討を進め、充実に努めてください。」というところですね。全庁的な予算みたいなものもあると思いますし、令和4年度から東大和市総合計画というのも上位計画としてあるので、そこら辺とのバランスもあるのかなというのが脳裏にありまして、表現的に具体的な検討してもらいたいというのを主に訴えたいという考えです。

副会長：ありがとうございます。今の意見についてはいかがでしょうか。賛成するという方は頷いていただけますか。よろしいですか。

委員：この文章とは全く関係ないところすみません。シンボルとなる拠点施設があるというのは凄く望ましいことですが、それプラス、以前バーチャル空間でというお話しをさせていただいたんですけども、そういった情報を得られる場というところの、もし物理的な空間が厳しいのであれば、情報を得られる何か新しい視点が入ってくるといいんだろうなと思います。今回の文章についてとはまた別とは思いますが、ずっと場所が作れませんでした時に、何か売りとなるものを今後作っていただけたらなと思いました。

事務局：素敵な発言をありがとうございます。まだ全然皆さんにお話しをできる段階では全くないですし、研究段階ではあるんですけど、我々のほうで少し研究し始めているのはバーチャル施設、バーチャル拠点というものを研究し始めています。実際何度も言ってるんですけども、ハード面というのは新しく作るのとはとても難しいです。ただ、広がりとかそういったところを見ると、バーチャルの拠点をすることは凄く有効で今後広がっていくのかなと思っていて、ハードが難しいのでバーチャルのハードを作るみたいな言い方が正しいのかどうかはわかりませんが、そういったものを考え始めております。ただ、まだ全具体的にもなっていませんし、どれくらい予算がかかるかというのも調べ始めた最中ですので決して皆さんにお披露目できるようなものではないんですけども、今そういった御意見があったので、我々としては拠点施設についてずっと検討をきていないのではないかとされているんですけども、水面下で皆さんの御意見をどうしたら具体的にできるのかを我々も考えて進めています。その中で相談とか啓発とかもバーチャルの施設の中でできないかも研究をしているので、事務局もこんなことを考えているんだと皆さんも心にお留め置きいただいて、また皆さんにしっかりと話しができる時が来たら話しをさせていただきたいと思っております。委員がおっしゃったように、事務局のほうでもこんなことを考えているという補足をさせていただきます。

副会長：答申（案）の検討について、他に御意見ございますか。

委員：答申（案）という訳ではないんですけど、先ほど審議会の意見が多々出たんですけども、ぜひ調整会議である男女共同参画推進計画連絡会議の中で審議会の委員から強く意見が出ているんだということ職員方に言っていただいて、なかなかそれぞれの審議会の目的があるのでそう簡単にはいかないと

は思うんですけれども、強い意見があったことはぜひお伝えしてください。

事務局：ありがとうございます。委員が今おっしゃられたように、我々も審議会の委員の比率についてはこの審議会の皆さんからずっと御意見をいただいておりますので、その度に審議会の開催の時期にはぜひ一人でも多くの女性委員を、ということによっておりましたが、改めて強い意見が出たということでお伝えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

副会長：他に意見はございますでしょうか。

委員：審議会も次回で最後ですよ。それで目標1、目標2、目標3なんですけれども、やはり番号を振ったほうがいいと思うんですよ。例えば目標1「日本一子育てしやすいまちづくり」とあるんですが、防災分野とかまた別の分野が出てきます。だからわかりやすいように番号を振ったほうがいいんじゃないですか。文章を最後に整理されると思いますけれども、わかりやすい答申にしようということで、「また」なんておかしいし、(1)とか(2)とか(3)とかでブロックごとに番号を振って、最終的な答申の形を作られたほうがわかりやすいんじゃないかなと思いました。検討していただきたいなと思います。

副会長：「はじめに」から番号を振るんですか。

委員：「はじめに」とか「計画全般について」とかはそのままでもいいんじゃないですか。中身からでいいと思います。

副会長：中身というのは目標1からですか。

委員：目標1、目標2、目標3です。

副会長：目標1が①ですか。

事務局：目標1の中で、①②③というように番号を振るって意味ではないですか。

委員：目標1の中で①(1)、(2)、(3)とかです。そこは事務局にお任せしますが、もしやっていたら番号を振ったほうがわかりやすいと思います。

副会長：①②③というように番号を振るという意見ですが、これについてはどうでしょうか。そのほうがわかりやすいでしょうか。目標1の中だけで①②③と番号を振っていくと整合性が取れないということはありませんか。それか、番号は付けないほうがいいという御意見ですね。どうでしょうか。ちょっと時間も差し迫っているんですけれども。答申が固まらなかった場合は予備として1月に用意していますけれども。最後ここだけだと思うので決めちゃいたいと思うんですけれども。それとも、もう一回、文章を練り直して1月に皆さんご出席のもと、確認したいですか。次回をどうするかも含めて今決めなければいけないところに来ています。

事務局：数字に関して委員がおっしゃられましたけれども、全体的な部分については番号というのは振っていないです。一連の文というか目標をまとめるということで一文として書いていただいているというのが今までの形式です。ただ、今回、このようにしたほうがわかりやすくいいというのであればそれでも構いませんので、今御意見が出ましたので、皆さんの中でご判断いただければと思います。

委員：この長さなんですよ。

事務局：おそらく委員がおっしゃられたのは、目標1の中でキーワードごとに①、②、③とたぶん段落ごとってイメージになるのかと思うんですが、たぶんそう番号を振ったほうがわかりやすいんじゃないか、という御意見だと思います。

委員：最終的には事務局がそうされると思っていたんですけれども。

事務局：基本的には、前回に番号を振っていないので、このままの文章、答申として皆さんの御意見を文章にしたものなので、我々としてはこのままでいくイメージだと思っておりました。

委員：長い文章であれば委員が言うように番号を振ってもいいかもしれませんが、これぐらいの文章だっ

たら「また」とか段落とかつければパッと読めますので、市長さんも読みやすいと思うのでいいんじゃないかと思います。このままでいいんじゃないですか。

委員：逆に番号を付けると①はこんなにあって、②は2行しかないとかいうことが気になったり、色々なことが起こりえるので、このままで十分読めるのではないかと思います。

副会長：では番号は付けない方向でよろしいですか。こちらのほうが御意見多数ですね。

それでは、皆さん様々な御意見をいただきありがとうございました。

委員：⑭の辺りはこのままで大丈夫ですか。

事務局：一旦、確認させてください。目標3ですが、㊦は「啓発の取組」にさせていただきます。㊧は「職員に対する啓発や事業の更なる推進、具現化のためにも」という形で御意見いただきました。⑪⑫の部分ですが、こちら読ませていただきます。「審議会等の女性委員比率の向上については、目標値40%に向けて、各審議会ごとに具体的な達成時期と」、「方策」なのか「取組」のどちらでもいいというお話しでしたが、「方策などを定め、早急に進めてください。」という形でいいですかね。「また、計画の推進にあたっては、男女共同参画推進体制の整備に努める必要があります。推進に関わる拠点施設の整備については、既存施設の再活用や有効利用を考慮し、拠点施設で実施すべき事業や機能について、計画的かつ具体的に検討を進め、充実に努めてください。」という形での修正で事務局としては理解しております。皆さんどうでしょうか。

委員：審議会のところは「早急に進めてください」ではなく「早急に達成してください」ではないですか。

事務局：「達成してください」ですね。失礼しました。

委員：これまで出ていたハード面の実現に関しては、今回は考慮にとどめるということですか。

事務局：皆さんどうでしょうか。先ほどの委員の発言の際に皆さん頷いていただいていたのかなと思ったのですが、いかがですか。

委員：統一できているなら大丈夫です。

副会長：大丈夫ですか。

委員：すみません。今日は本当に熱心に議論ができ、内容も濃い内容だと思うんですね。それで申し訳ないんですけど、今度1月19日にありますよね。その前にまた郵送していただけるんですよ。申し訳ないんですけども、もう少し1週間ぐらい早くできれば、今回非常に内容も濃くて確認したい方もいると思うので、1週間ぐらい前には郵送で送っていただければありがたいなと思います。言葉で言ったものではなく文章としての確認もできるので、お忙しいところ申し訳ないんですけども、早めに送っていただくと皆さんも喜ばれるんじゃないかと思います。

副会長：次回の1月19日は予備日として設定しておりました。これについて事務局から説明をお願いします。

事務局：実際のところ、答申がある程度固まったのかなと思っております。ここは皆さんに御審議いただきたいのですが、1月19日は審議事項ということで、皆さんの中である程度意見が固まった、勿論、今日固まったものは皆さんに一度お示しをします。それでまた御意見をいただくというか、ある程度意見が固まって、てにをはみたいなものがあれば、例えば正副会長に一任で、次回の審議会で審議内容が無いとなかなか審議会を開催できないので、まだまだ審議が足りないということであれば1月19日に審議会を開催することは全然やぶさかではございません。ただ、一旦この答申についてお話しをさせていただいた中で、この形でいきたいと定まったのかなというふうに思いますので、今日いただいた意見を我々のほうで文章に起こして皆さんにお渡しします。大幅に変更というのは今日の議論でもう無いのかなと、熱い議論が出来たと言っていたいただいたので、てにをはの部分ぐらいならば事務局に伝えていただいて、正副会長にお伝えしてオッケーであればそれを正式な答申として、1月の下旬ないし2月の頭に市長にお渡しするような形で日程を組みたいと考えて

います。その日付けの答申書として整えた後でお渡しをさせていただこうと思っておりますので、皆さんが次の議論としてはもう平気だよということであれば1月19日の審議会はやらずに、第九次の審議会は今回が最終回という形で終わってもいいのかなと思いますので、審議会の皆さんの御意見として、もう一度審議をさせてほしい、という言い方はおかしいですが、今日はいい議論ができたと思うので、文章としてまとまったのかなと思うので、もちろんまとまった物は皆さんに見ていただいて、てにをはの部分だけの意見なら正副会長に一任という形で認めていただければ次回に行わない形でいきたいなと思っておりますので、そこだけ皆さんの御意見を出していただいて御審議いただければ最終的に決めていただければと思います。皆さん、いかがでしょうか。

委員：個人的な意見ですが、1月19日は短時間、1時間でもいいからもう一回皆さんと顔を合わせて確認したほうが内容が充実するかなと思うんですけど、だめでしょうか。

副会長：他に御意見をお願いします。もう一度顔を合わせてやったほうがいいですかね。

事務局：審議内容が無いならばなかなか我々としても審議会を開催するのは難しいですが、全てを見て、再度審議がしたいということであれば全然問題ないので、委員がおっしゃったように1時間でもみんなで見確認をして、最終的にてにをはを、というか内容を確認したいということであれば全然やぶさかではございません。総意というか、もう出尽くしたよっていうのであればあれですし、皆さんの中でも温度差があるのかなと思いますので、そこは皆さんで話し合っただければと思います。

会長：私の考えをちょっと申し上げてよろしいでしょうか。委員のおっしゃったように集まって1時間ぐらい内容について確認して、これでいいじゃないかとなったら、その残った時間で次年度につながる課題かな、今年は去年とは違うやり方で来たものですから、そのことに御意見を貰う時間を20分ぐらい取っていただけたらなど。1月19日はやっていただいたほうが自然かなと。課題もあるので。そんな感じがするんですけど。

副会長：ありがとうございます。

会長：どうでしょう。もしくは、もうお任せでいいです、ということであればそのようにしますけれども。

委員：今期最後の会議となりますので、やはり最終的に顔を突き合わせて確認しあって終わりたいなど。

会長がおっしゃったように、課題を話し合う機会もなかなか無いと思いますので、時間を利用して今後繋がる意見交換が出来ればというふうに思っています。

副会長：ありがとうございます。次回は開催したいという意見のほうが多いですかね。

委員：次が1月19日開催となると今日が12月15日で、年末年始を挟み、事務局も大変だと思いますので、資料は送っていただかずに、だいたい方向性は固まったということですので、てにをはぐらいであればこの場で、次回の会議の時に配ってその場で確認、文章も短いと思いますので、それでよろしいのではないのでしょうか。事務局にお手間をまたかけて郵送したりというのは大変だと思いますので。

事務局：ありがとうございます。ただ、今日の話合いで文章としてはほぼ出来上がっているもので、確認・修正させていただいて、年内には皆さんのところに一旦郵送させていただきます。事前に見ただいて、じっくり読んだら変だな、と思う部分があると思われまので、それを持ってやられたほうがいいのかと思います。そういった形で事前に答申（案）の完成版みたいなものを皆さんにお届けをさせていただきますので、そこで一旦読んでいただいて、てにをは等々、軽微な修正に留めていただきたんですけど、皆さんで御審議いただければと思います。事前に意見を収集するまでいくかどうかはまだ言えませんが、確実に事前にお渡しはしますもので、それを読んでいただいて審議会のほうに臨んでいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

委員：会長からお話しの合った後半部分の今後の話しとかはとても大切なことなので、開催したほうがよ

ろしいかと思えます。

事務局：そうしましたら次回の審議会は1月19日（木）午後7時から、場所は今回と同じ会議棟第1会議室で開催させていただくように準備を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

## 2 連絡事項

### (1) 次回審議会の開催予定について

日時：令和5年1月19日（木）午後7時～

場所：市役所 会議棟1階 第1会議室

副会長：以上をもちまして、本日の議題が全て終了いたしました。これをもちまして、第8回第九次東大和市男女共同参画推進審議会を終了いたします。お疲れ様でした。